

---

## 2021年度 JWU 女子高等教育センター 活動報告

---

JWU 女子高等教育センターは、本学の建学の精神、教育理念を実現するため、学生の視点に立った継続的な教育改革を教職協働で進め、本学における教育の質の向上に寄与することを目的とし、教学マネジメントの一翼を担う機関として2019年6月1日に設置されました。センター所長と6名のセンター委員及び事務局である大学改革推進室を中心に学修支援課の協力を得て、教職協働で教育改革に関する検討事項など、教育改革を推進するための幅広い検討と提案を行っています。あわせて、センターの活動状況や、教育改革を進めるうえで役立つ情報などを教職員に周知することを目的としたニュースレターの発信や、大学における改革の必要性を広く教職員に周知し、改革マインドを醸成していくためのFD・SDセミナーを実施しました。

### 構成員

センター所長 和賀 祥 (理学部)  
センター委員 川端 康雄 (担当理事・文学部)  
佐藤 克志 (家政学部)  
額田 春華 (家政学部)  
加藤 玄 (文学部)  
黒岩 亮子 (人間社会学部)  
長谷川 治久 (理学部)

### センター委員ミーティング開催日

第1回 2021年4月21日(水)  
第2回 2021年5月12日(水)  
第3回 2021年5月26日(水)  
第4回 2021年6月9日(水)  
第5回 2021年6月23日(水)  
第6回 2021年7月7日(水)  
第7回 2021年7月21日(水)  
第8回 2021年9月16日(木)

- 第 9 回 2021 年 10 月 15 日 (金)
- 第 10 回 2021 年 11 月 11 日 (木)
- 第 11 回 2021 年 11 月 25 日 (木)
- 第 12 回 2021 年 12 月 23 日 (木)
- 第 13 回 2022 年 1 月 20 日 (木)
- 第 14 回 2022 年 2 月 15 日 (火)
- 第 15 回 2022 年 2 月 25 日 (金)
- 第 16 回 2022 年 3 月 11 日 (金)

### ニュースレターの発行

---

- 第 1 号 2021 年 5 月 15 日 (土)
- 第 2 号 2021 年 6 月 11 日 (金)
- 第 3 号 2021 年 7 月 13 日 (火)
- 第 4 号 2021 年 10 月 11 日 (月)

### JWU 女子高等教育センター主催によるセミナー

---

「学修者本位の大学教育の構築を目指して」の開催

- 第 1 回 2021 年 11 月 5 日 (金) 14 時 00 分～16 時 00 分  
講演者：日比谷 潤子 氏 (聖心女子学院 常務理事)  
司 会：和賀 祥 (センター所長・理学部)
- 第 2 回 2022 年 3 月 15 日 (火) 10 時 30 分～12 時 00 分  
講演者：大森 昭生 氏 (共愛学園前橋国際大学 学長)  
司 会：和賀 祥 (センター所長・理学部)

### 主な検討課題

---

・単位制度の実質化

第三期大学認証評価で改善課題として指摘を受けた単位制度の実質化への対応に向け、履修条件や履修登録単位数の上限について検討を行いました。具体的には、各学科の協力のもと教職資格取得に関わる履修条件の設定や見直しを行い、履修の手引き等の記載を変更しました。また、4 年次学生の履修科目登録の上限単位数を目安とする制度を廃止しました。単位制の趣旨に照らし、今後も上限単位数の見直し等、その他の課題については引き続き検討を進めて参ります。

・授業アンケート

従前からの目的である授業の改善だけでなく、主体的な学修に対する学生の意識向上を目的とした、授業への取り組みの振り返りや到達目標の達成度の自己評価も行うことを目的とした内容に変更することを検討し、今年度の前期実施分より設問を変更しました。加え

て、従前は授業担当者のみ閲覧可能であったアンケート集計結果の閲覧権限を変更することを検討し、後期実施分より学長、科目に関連する各センター長、各委員会委員長、各学科長等に閲覧権限を広げました。また、授業運営に関わることなどは次の期に持ち越すことなく、序盤の段階で改善を図ることを目的として、授業改善のための中間アンケートの実施について検討し、2022年度より実施することを決定しました。

#### ・ IR の推進

IR の推進の一環としてファクトブックの作成について検討しました。ファクトブックに掲載するデータの指標を決定し、データの収集及びファクトブックの作成を進めました。

#### ・ ポートフォリオの導入

学生の学修成果を可視化することを目的に、有用とされているツールであるポートフォリオの導入について検討を進め、2022年度新入生より暫定導入することを決定しました。2023年度新入生からの本格導入に向け、引き続き検討を行います。

#### ・ ディプロマ・ポリシーの見直し

教育改革の柱である学修者本位の教育を目的として、2023年4月から新しいディプロマ・ポリシーを策定することを目指し、見直しを進めました。専任教職員に対しては、見直しの必要性や見直しにあたってのポイントについて理解を深めてもらうための説明動画を作成し、意見やアイデアを募集しました。2023年4月からの開始に向け、引き続き検討を進めて参ります。

## 所長メッセージ

学修者本位の教育への転換は以前から進められてきたことですが、本学での取り組みは決して順調に進んでいるとは言えません。その理由の一つは、なぜこのような教育の転換が必要であるのかの理解が十分に教職員に浸透していなかったことが挙げられます。そこで、学修者本位の教育の意味の理解を深めるため、ニュースレターの発行や動画作成を進めました。

さらに、学修者本位の教育における柱となるディプロマ・ポリシーについて、その見直しに取りかかりました。この見直し作業には、当然カリキュラム・ポリシーなどの見直しも含まれます。大変な作業ですが、本学の教育の理念を具現化するような、さらに在学生、高校生およびその保護者の方々、そして社会に広く知っていただけるようなポリシーを策定したいと考えています。

教学マネジメントは、学修者本位の教育を実践する上での運用形態と捉えることができます。その中の授業科目レベルでのマネジメントで重要な役割を果たすのが、授業アンケートです。授業アンケートでは、その実施が目的ではなく、アンケート回答をどう活用して、学生の教育に反映させていくかが重要であると認識しています。2022年度では、学位プログラムの中の授業科目という位置付けを再確認しつつ、アンケート回答の結果を踏まえた、授業改善のための方策の再構築を進めていきたいと考えています。